

日常業務における実践記録

計画	
研修形式	自己学習
JPALS研修会コード	利用しない
テーマ	お薬手帳の重要性
学習時間	1時間
学習日 履修日可能	2013/04/10
場所	薬局内
学習方法 (通信教育、eラーニング、読書等)	平成24年3月11日(月)北海道新聞朝刊を読んで
学習内容	お薬手帳の必要性を患者さんに理解していただくために、薬剤師として何が出来るかを考える。



一覧では  
タイトルとして  
表示されます。

ネタさがしは  
身近なテレビ・新聞  
などで

振り返って見る  
ときのために…

メモ  
↓  
箇条書き  
↓  
見出し付  
まとめ

と、成長させていくのも  
一つの方法です

この研修のまとめ(例:学んだ言葉、内容を理解できたものと、よく理解できなかったものに整理する等)【200文字以上、必須項目】  
入力文字数 827文字

【新聞記事 ～大災害時の避難、「お薬手帳」必携～】

お薬手帳とは、処方された薬の名前や用法、服用回数や注意点を記した手帳で、医療機関や薬局で作成してもらえる。

《2年前の東日本大震災でお薬手帳が役立つ事例》

- ・避難の際にお薬手帳を持ち出していたおかげで、同じ薬か、それが無くても同じ種類や効果の薬を出せた。
- ・お薬手帳があったため、処方にかかる時間が短縮でき、スムーズに的確な処方を受けることが出来た。

《お薬手帳をより効果的に活用していただくために》

- ・薬でアレルギーを起こした経験があるなら、お薬手帳にその旨を記載しておく、処方の際に問題の薬を避けられる。

《災害時のための事前の備え》

- ・避難時にお薬手帳を持ちだせないケースに備え、内容を携帯電話で写真に撮り、保存しておく。
- ・ふだん飲んでいる薬をすぐに持ち出せるようにしておく。
- ・どの薬をどれだけ飲んでいるか覚えておく。

《薬局としてサポート出来ること》

① お薬手帳の必要性を説明する

初めて持たれる方、利用していない方、利用している方でも毎回持参されない方への対応、話法確認。お薬手帳に書いている内容を確認しながらの投薬も、必要性を実感していただくための方法となる。

	<p>② 啓発ポスターの作成 薬局スタッフとお薬手帳説明チラシなど作成することで、全員がお薬手帳について同じスキルを身につけることができる。</p> <p>③ お薬手帳カバーの利用促進 保険証などと一緒に管理することで、医療機関へ受診する際の携帯品としての意識が高まる。</p> <p>④ 領収書へのバーコード添付 災害時に携行する一つとして財布があり、その中に服用中のお薬の内容が入力されている領収書(3次元バーコード付き)があれば、スマホ、携帯などで読み取ることができる。</p> <p>⑤ お薬手帳の電子化 電子カードに登録することで携帯やスマホからいつでもどこでも服用しているお薬の情報を見ることが出来る。</p> <p>④、⑤は主にハード面でのサポートとなるが、上記以外にもお薬手帳を携行していただく方法はあると思います。</p>
学習内容で実践活用が出来そうな例 学習が実践活用出来た内容【自由記載】	お薬手帳の内容や薬剤情報提供書などを、携帯電話で写真に撮り、保存しておくというのは、普段から患者さんにお伝え可能なことだと思った。
学習目標達成できなかった項目 今後の学習が必要な項目【自由記載】	お薬手帳をお持ちでない方やなんとなくお持ちの方に、「お薬手帳の重要性」を繰り返し説明しなければならぬと改めて感じた。

簡単なコメントだけでもいいので記入しておくのと、よいでしょう。

PS確認

領域   GLLレベル

全て

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

到達目標	GLLレベル
3-4-3. 災害時における薬剤師の役割について説明できる	4
3-4-5. 災害時に備えた適切な患者指導ができる	5

2013年 6月14日現在)

日本薬剤師会雑誌に2013年4月号から「はじめよう JPALS」が連載されていますのでご参照ください。

また、北海道薬剤師会ホームページにも「JPALS 超簡単マニュアル」および各研修会の研修会コードを掲載しています。実践記録の入力時にご利用ください。

<http://www.doyaku.or.jp/>

JPALS 登録報告	件数
ユーザー登録数	1,232
過渡的認定	955
ポートフォリオ計画	742
ポートフォリオ実践記録	2,179
e-ラーニング申込	2,608